

別紙2 質問2 関係

【現状】

- 料金収入の減少傾向
(市内事業者の水源転用・人口減少等に伴う水需要の減少)
- 水道施設の老朽化に伴う更新費用増大、物価上昇
(基幹管路の耐震化更新等)



お金はないけど、更新は必要だし...

【対応策】

- ・ 企業債充当率引き上げ
- ・ 建設改良積立金投入
- ・ 経費削減
- ・ ダウンサイジングの検討等

【懸案事項】

- 近い将来、現金が不足するかもしれない...
- 経常損益及び純利益が赤字に転落するかもしれない...
- 企業債残高対給水収益が大幅に上昇するかもしれない...
(次世代への負担押しつけ)



対応策を実施しても、厳しい状況...

【今後の対応】

- R6年度に新たな経営戦略を策定
(今後の経営状況がより正確に認識できる)
- どのタイミングでこういった対応をすべきか明確になる。
⇒ 適切な更新事業規模、適切な料金設定をする。



経営戦略が出来れば、将来が見通せる！！